



埼玉会館

Architecture Handbook

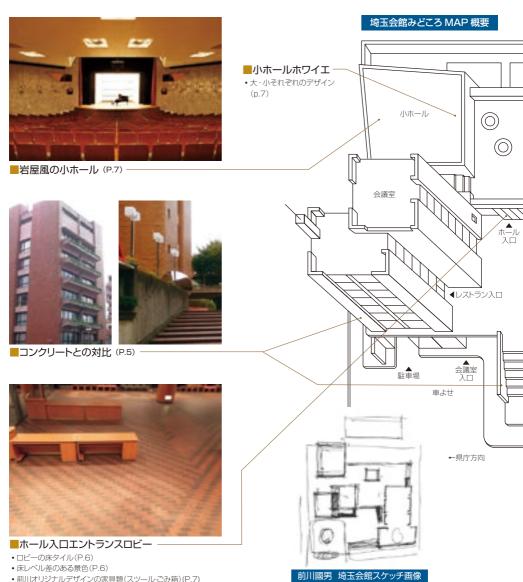
埼玉会館 -前川國男設計(1966)

埼玉会館

埼玉会館は大・小ホールと3つの展示室、様々な大きさの会議室がある公共文化施設です。

埼玉会館の現在の建物は日本の近代建築に大きな足跡を残した建築家・前川國男の設計であり、そのモダンな 外観から建築上の高い評価を受けています。

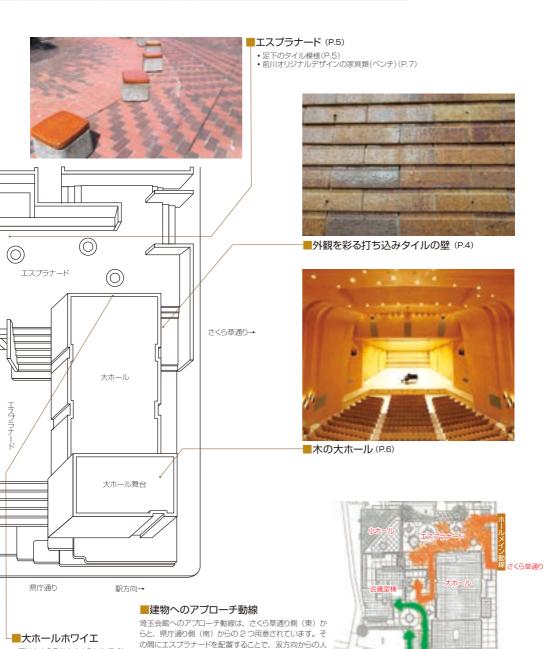
この冊子では、そのような埼玉会館の、建築をメインとした特徴(みどころ)を紹介しています。普段何気なく訪れている方も、この冊子を通して埼玉会館の魅力を改めて発見してください。



• 天井を支える樹木のような柱(P.6)

• 壁のアクセントカラー

(P.7)



の流れをゆったりと受け入れ、来館者が散策しながら館内

ー度に大勢の人がアプローチする大小ホールのメイン動線 はエスプラナードから、一方、時間帯がまちまちで頻繁な アプローチが予想される会議室棟のメイン動線は県庁通り

側からと、人の流れを区分するようにも配慮されています。

へと進める動線になっています。

県庁通り

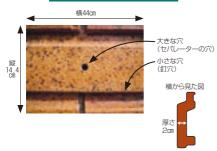
埼玉会館アプローチ動線

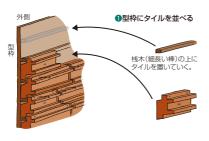
3

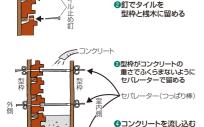


微妙な色の違いがある打ち込みタイル タイルは色のバランスが均等になるように配置されています。

打ち込みタイル工法 (略図)







※打ち込みタイルの形状は各施設で異なります。

■外観を彩る打ち込みタイルの壁

埼玉会館の外壁のタイルは、前川建築独自の工法で、コンクリートと一体化して固定されており、磁器質の暗黄土色釉薬掛け、表面は石割肌にローラー押型で、愛知県刈谷で焼かれました。タイルの表面は窯内の炎の加減で1枚ずつ焼き色が異なっており、微妙な色合いを醸し出し味わい深い仕上げとなっています。

前川建築における埼玉会館①

前川建築の特徴である打ち込みタイルが、外観全面に使用されたのは埼玉会館が初めての建物です。(打ち込みタイルの使用は日本相互銀行支店や紀伊國屋ビルの方が早いですが、こちらは建物の一部に使用されていました。)この工法はその後、埼玉県立歴史と民俗の博物館や熊本県立美術館、東京都美術館等多くの前川建築に引き継がれ、前川建築を特徴付けるデザイン手法となりました。

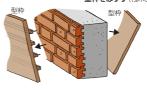
■打ち込みタイル工法

コンクリートの壁にモルタルを塗り、その上にタイルを 貼り付けるという方式がタイル壁の一般的な工法。

しかし、埼玉会館の外観は、コンクリートを流し込む木の型枠にタイルをあらかじめ固定し、そこにコンクリートを流し込んで、タイルをコンクリートと一体的に固定させるという「打ち込みタイル工法」で造られています。このため通常より大きなタイルを貼ることができ、コンクリートと一体化しているため落ちにくく丈夫である点が特徴です。

タイルをよく見ると、上部にタイルを型枠に固定する 二つの釘穴と、真ん中にも大きい穴が空いている部分が ありますが、この穴は型枠を固定するセパレーター用の 穴で、打ち込みタイル工法の特徴です。

⑤コンクリートを固めた後、 型枠をはずす(桟木と釘が型枠と共にはずれる)





■エスプラナード

大ホールと会議室棟をつないでいる中庭・エスプラナー ド。これは建物の60パーセントを地下に埋めることで生 み出されました。建物で人の流れを途切らせることなく、 ゆったりと受け入れるこの設計は、浦和という市街地の中 に建てられた埼玉会館ならではの特徴です。

■足下のタイル模様

エスプラナードは、2色のタイルで敷き詰められており、 その模様は、丸型の植え込みを中心として波紋が重なり、 波紋と波紋との間は、人が歩く流れをイメージして配置 された、網代張り模様で表現されています。

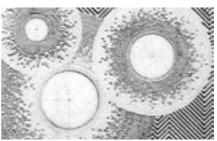
このタイルは緻密な設計図に基づいて貼られており、 貴重な手書きの割り付け図も残されています(右図)。 上から見るとあたかも花が咲いたような様相を見せてく れます。

前川建築における埼玉会館②

埼玉会館の建築の特徴であるエスプラナード。この「散策路」を意 味する建築概念は前川建築でもよく使用されていますが、実はエスプ ラナードという名称が使用されたのは前川建築の中では埼玉会館が 初めてでした。さらに埼玉会館で実現されたエスプラナードは「散策 路」という概念に加えて、「囲まれながらも周囲の道とつながり開い ている屋上広場・中庭 | という概念も加味され、都市の中で建築が 果たし得る新しい公共広場のあり方として高く評価されています。



床タイルの模様が美しいエスプラナ



手書きのエスプラナードタイル割り付け図

網代張りタイルの貼り方

2 色のタイルをこのような配置で組み合わせて、模様を描い ています。

■コンクリートとの対比

外壁がタイルで囲まれている埼玉会館ですが、所々、 打ち放しコンクリートが使われている部分があります。そ の表情には、バラ板尺巾型枠による荒々しい木肌の表情 と、小幅板型枠による優しいきめ細やかな木目調の表情 の2種類があり、これらの打ち放しコンクリートと焼き物 のタイルが絶妙な対比をなして趣のある内外空間デザイ ンに寄与しています。

前川建築における埼玉会館③

この打ち込みタイルと打ち放しコンクリート両方が壁面に使われてい るデザインは、埼玉会館以外にも前川建築によくみられる構成です。 前川建築は当初、軽量化を図った近代合理主義建築の系譜から始ま り、その後打ち放しコンクリート造りのブルータルな建築の系譜へ移 り、さらに1960年代以降から打ち込みタイル+打ち放しコンクリー トの建築の系譜へと移りますが、埼玉会館は歴史と民俗の博物館を はじめとする、1970年代以降の前川建築の先駆けとなりました。



荒々しい木肌のコンクリート

敷地を囲う外壁や小ホールホ ワイエの壁部分など



きめ細やかな木目調のコンク リート部分 会議室ベランダやホール・会 議室入口ひさしなど



木の大ホール 壁から天井へ向けて途切れることなくきれいなアーチを描いています



屋外エスプラナードから連続模様のホール入口のタイル



大ホールホワイエのタイル模様

■木の大ホール

埼玉会館の最大の特徴は、木でできた大ホール。内装は音の響きを程よくブレンドする木製下地に栓(せん)難燃合板材の仕上げ材により、壁と天井が連続して一体に造られています。壁には、響きを拡散するヒダ状の凹凸がつけられ、そこに設けられた照明と天井にちりばめられた照明とが織り成すホール空間は、現在では非常に得難い内装構造であり、その響きの良さは音響家が選ぶ「優良ホール100選」にも選ばれています。

■ロビーの床タイル

ホール入口のエントランスロビーの床は、屋外のエスプラナードから連続した模様の2色のタイルが敷き詰められており、所々で切り返しが異なったデザインになっています。

床タイルの図面(部分のアップ)

図面を見ると、切り返しが細かく設定され ていることがわかります。このような模様 が、エスプラナードからホワイエ内まで連 続してデザインされています。



■床レベル差のある景色

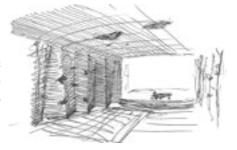
ホール入口のエントランスロビーから階段をおりたレベルにある大ホールホワイエを見下ろしてみると、床のタイル模様をよく見ることができます。レベル差のフロアが重なって構成されている内部空間の景色は、埼玉会館ならではの楽しみ方です。室内でも色々なタイル模様を、是非探しながら歩いてみてください。



■天井を支える 樹木のような柱

大ホールホワイエの柱まわり にも、木があしらわれています。 柱の上部は天井に向かって枝が 広がっているような形をしてお り、まるで天井を支える樹木の ようなデザインとなっています。







■壁のアクセントカラー

大ホールのホワイエ正面の窓側には、カラフルなアクセントカラーが彩色されたリズミカルなコンクリートリブ壁が不規則に配置されています。独特な色使いは前川カラーとよばれ、前川建築の空間に共通する特徴の一つです。

■大・小それぞれのデザイン

ホール入口のエントランスロビーを入って右側に大ホール、左側に小ホールがあります。小ホールの客席の壁はコンクリート斫り(はつり)塗装仕上げ。大ホールの温かみのある木のホールの雰囲気と異なるイメージです。大・小ホールは一続きの空間に配置されていますが、それぞれ全く違ったホール空間のデザインと音の響きを楽しむことができます。

■岩屋風の小ホール

小ホール客席内は、大ホールと対象的に、壁面はコンク リートはつり塗装仕上げとプレキャスト版の音響壁、座席 の色は深緑で、全体として森の中の岩屋を思わせる落ち 着いた印象を醸し出しています。客席が扇型に配置されて おり、舞台と客席の一体感が感じられます。

■前川デザインのオリジナル家具類

建築空間において、そこに設置される家具類は空間を構成する重要な要素であると考える前川國男は、埼玉会館の設計の際、同時に室内外の家具類のデザインも手掛けています。空間を彩る家具類が充実しているのも前川建築の特徴です。



前川建築らしいカラフルな壁のアクセントカラー



小ホールのコンクリート造りの壁面



岩屋風の小ホール



籐でできたゴミ箱



ホール共通ロビーのスツール



エスプラナードのベンチ





公益財団法人 埼玉県芸術文化振興財団 埼玉会館

〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4 TEL.048-829-2471 (代) FAX.048-829-2477 URL http://www.saf.or.jp/saitama



交通のご案内

電車 JR浦和駅西口下車徒歩約6分

車 国道17号・県庁前交差点から浦和駅方面へ約230m左側 ※駐車台数に限りがございますのでご来場の際はなるべく公共交通 機関をご利用ください。

資料提供:株式会社前川建築設計事務所